

『子ども会議』居心地のいい児童館とは？

取組の背景・目的

児童館が中学生や高校生世代の居場所として、居心地がいい場所になるよう意見や話を聴きたいと感じたため「子ども会議」として取り組むことになった。また、話を聴くだけでなく、実現できることも実感し、さらに“自分たちの児童館”という意識を持ってもらいたいと思った。

取組の概要

【実施場所】清瀬市中央児童館

【実施頻度】子ども会議 年4回（令和6年度）

中学生・高校生世代タイム 年8回（令和6年度）

【職員体制】常勤職員2名、非常勤職員1～2名

【実施方法】児童館指定管理者の児童館職員が実施

・子ども会議

会議室など特別な部屋を準備すると話がしづらくなるという意見が児童からあったため普段過ごしているフロアでグループ毎に職員が話を聴く

・中学生・高校生世代タイム

子ども会議での意見を参考に、みんなで楽しめるイベントを行う

【取り組んだ事業例】

☆スポーツ大会がしたいという意見を参考に

卓球大会・ドッジボール大会・バトミントン大会・バスケットボール大会

☆得意なスポーツで競いたいという意見を参考に

いろいろスポーツ大会（Eスポーツも含む）を実施

☆肝試しなど夜間に遊びたいという意見を参考に

暗闇肝試しを実施（広いホールを暗闇にし、大きな迷路を探検した）

※大きな迷路は、昼間に乳幼児親子や小学生のイベントで使用したものを転用した

工夫点・留意点

事前に館内ポスターなどで開催のお知らせはしているが、予定を立てて利用する児童より時間があえば来館する児童が多いので、口コミでの情報発信がとても重要になってくる。普段から挨拶や声掛けをし、事業の時期が近くなったら「〇〇大会があるよ」などと来館を促すような声掛けをこころがける。

また「〇〇がしたい」などの話を聞いた時は、子ども会議があることを伝える

取組の効果

バスケットボール大会



バトミントン大会



卓球大会



Eスポーツ大会



クリスマス会



定期的開催をすることにより「次はいつ？」などの声がかかるようになった。また「〇〇がしたい」「〇〇が欲しい」など過ごしやすい“自分たちの児童館”というような意識も芽生えはじめている。

課題・今後の展開

子ども会議で述べた意見をもとに行う事業に、企画や準備段階から参加してもらえるような展開を考えている